

## 59 農学部旧安城キャンパス記念碑

昨年、1951（昭和26）年から1966年まで名大農学部があった旧安城キャンパスの跡地、安城市総合運動公園（安城市新田町）に、「名古屋大学農学部創設発展跡地之碑」が建てられました。

一昨年6月、農学部第1回卒業生の卒業50周年祝賀会が開かれました。これをきっかけに、第1回卒業生から記念碑建立の提案がなされ、昨年3月、瓜谷郁三名誉教授を会長とし、安城時代の教職員、第1回卒業生、鈴木國夫農学部同窓会会長、松田大学院生命農学研究科長などを委員とする、名古屋大学農学部創設発展記念会発起人会が発足しました。

そして6月には、瓜谷会長から神谷学安城市長に対し、農学部跡地への記念碑建設の要望書が提出されました。「日本デンマーク」と呼ばれた安城市（当時安城町）は、農学部を熱心に誘致し、附属農場も安城町の提供によるものでした。また、1935（昭和10）年に設立された産業組合

（現農協）立の安城更生病院には、医学部の前身の名古屋医科大学が全面的な支援を行うなど、名大と安城は戦前から浅からぬ関係がありました。今回も、安城市のご好意により、敷地が無償貸与されています。

建設費については、安城時代の関係者を中心に募られましたが、3ヵ月の間に目標額を上回る募金が集まり、昨年11月11日に、神谷安城市長、発起人会メンバーのほか、115名の臨席を得て除幕式が行われました。

現在、名大農学部時代の面影をしのばせるものといえば、当時テニスコートの隣にあった松林の一部のみで、記念碑もその近くに建てられました。すでにここには、農学部の前に同地にあった愛知青年師範学校（戦後愛知学芸大学安城分校）の記念碑があります。今回の建碑によって、農学部の基礎を築いた安城時代の記憶を残すとともに、この地の由緒の記憶も1つにつながったといえるでしょう。



1	2
3	

- 1 今回建てられた記念碑（白御影石、95×170×95cm）。後ろに見えるのが愛知青年師範学校の記念碑。
- 2 除幕式の記念写真。安城市総合運動公園は、名鉄新安城駅もしくはJR安城駅から名鉄バスで10分（「総合運動公園」下車）。記念碑は、公園の西端、野球場の西側にある。
- 3 安城キャンパスの航空写真。写真中の赤丸の地点に記念碑が建てられた。その下方に現在ごく一部が残る松林が見える。